

食物アレルギーを防ごう！

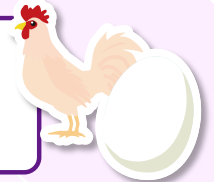
事例を参考に、事故を未然に防止するとともに、万が一発生した場合の対応を再確認しましょう。



昼食中に…

！こんなことが起こっています！

昼食時にアレルギー児の食事をきちんと確認せずに配膳をしてしまったため、卵使用の食事を本児が食べてしまった。担任が気づき本児の状態を確認したときは、口の周りが赤くなりかゆみがあった。
(幼稚園・6歳・男子)



おやつ中…

本児は牛乳アレルギーがある。午前のおやつ前、担任が本児以外の子に順にコップに牛乳を入れて配っていた。本児にはお茶を配るつもりだったが誤って牛乳を配ってしまった。そして本児がそれを口にしてしまった。すぐに担任がそれに気づき、うがいをさせ、お茶を飲ませるとともに園長に報告、速やかに母に連絡した。時間が経って額や首まわり、ほおに赤い発疹が出始め、再び母に連絡。病院受診に向かった。
(幼保連携型認定こども園・2歳・女子)



園イベントで…

誕生日会で用意されたケーキを食べた後、口の周りにポツポツと赤い発疹が出た。夕方寝て、起きたときに目の周りに発疹が見られた。
(平成29年度災害共済給付データより)



「間違いなく配食できたか、複数で確認し、チェック表に記入する」
「教職員全員が食物アレルギーに関する基礎知識と対応児童生徒等の実態、緊急時の対応方法について共通理解する」
など、未然防止や万が一発生した場合の対応が必要です。

「学校の管理下における食物アレルギーへの対応 調査研究報告書」を御活用ください。
JSCホームページ 学校安全Web からダウンロードできます！！

